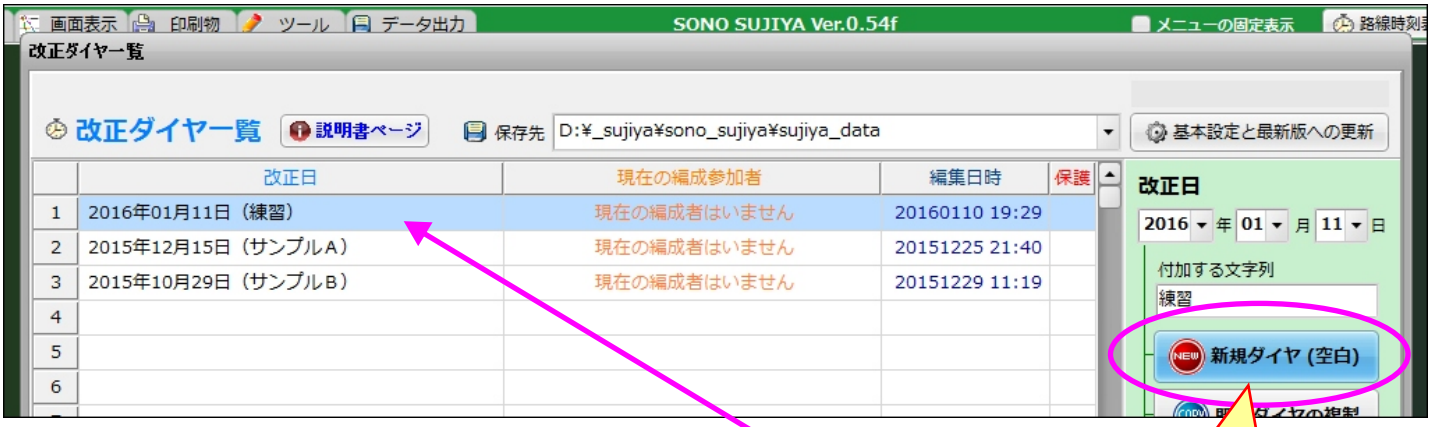
基礎データの作成方法

2016-1-10

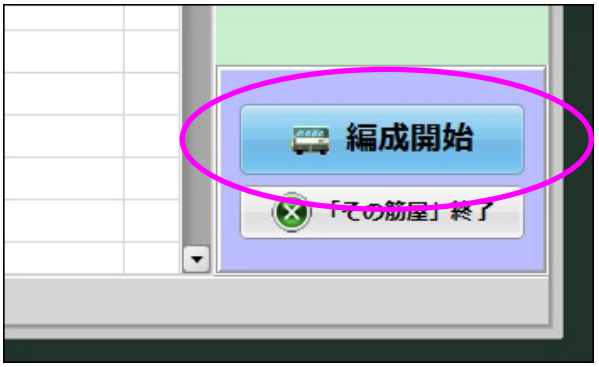
仙台→東京→名古屋→岡山 の路線と系統を、空白状態から作成してみましょう。
実際に作成してみることで、「その筋屋」のデータ仕様を理解できます。

①空白の「改正ダイヤ」を作成します。

お好みの改正日を設定して、
「付加する文字列」の欄には
「練習」と入れてください。



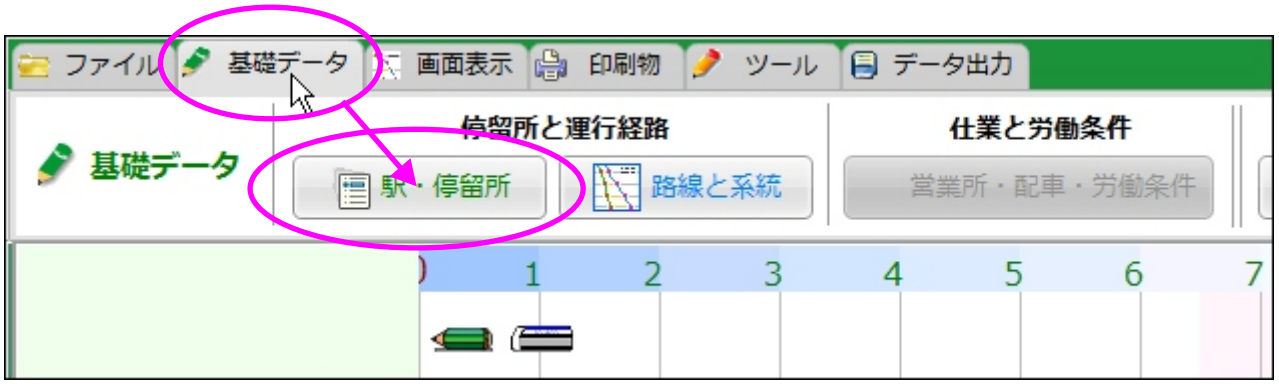
「新規ダイヤ（空白）」ボタンを
押すと、左側のリストに
改正ダイヤが作成されます。



作成した改正ダイヤを選択して
「編成開始」ボタンを押しましょう。

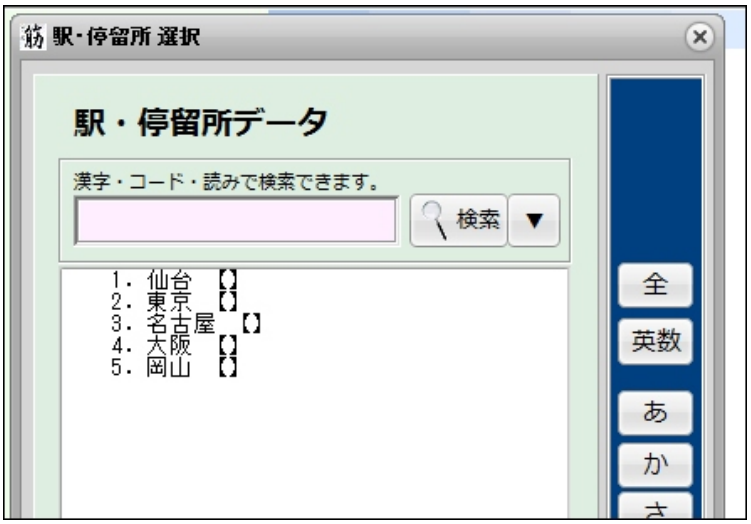
次に停留所データを入力してみましょう。

②停留所データを入力してみましょう。



上部の**「基礎データ」**をクリックして、**「駅・停留所」**ボタンを押しましょう。
「駅・停留所選択」ウインドウが開きます。

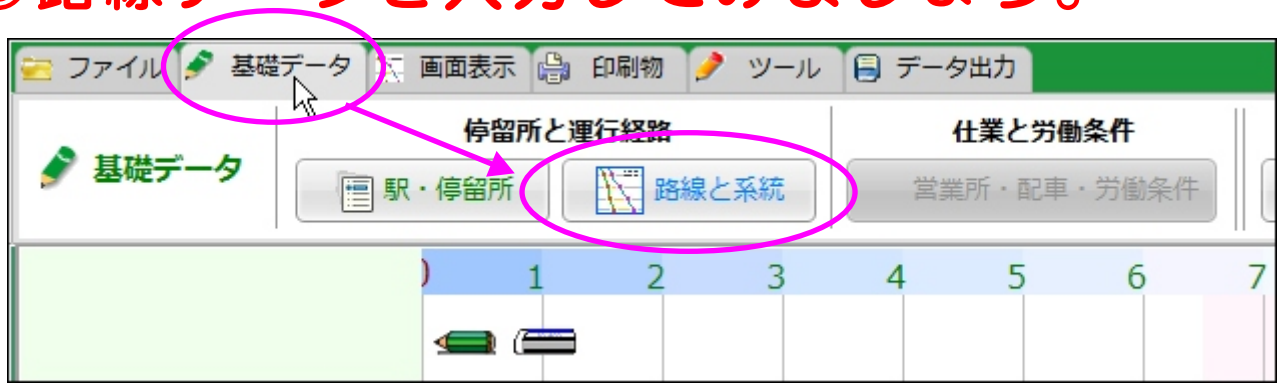
「新規追加」ボタンを押すと、「駅・停留所」ウインドウが開きますので、上図のように入力して**「保存」**ボタンを押してください。



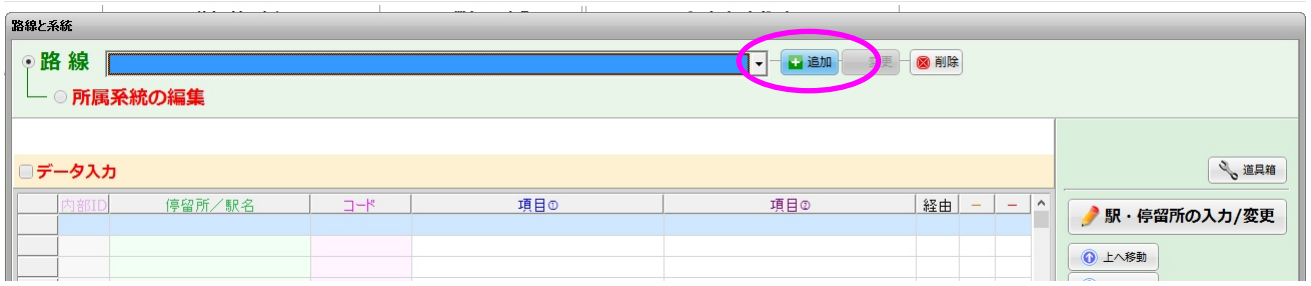
左図のように岡山まで入力してみて下さい。

次に路線データを入力してみましょう。

③路線データを入力してみましょう。

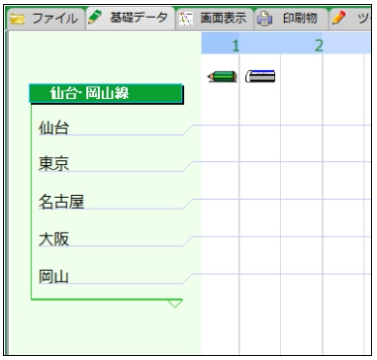


上部の**「基礎データ」**をクリックして、**「路線と系統」**ボタンを押しましょう。
「路線と系統」ウインドウが開きます。

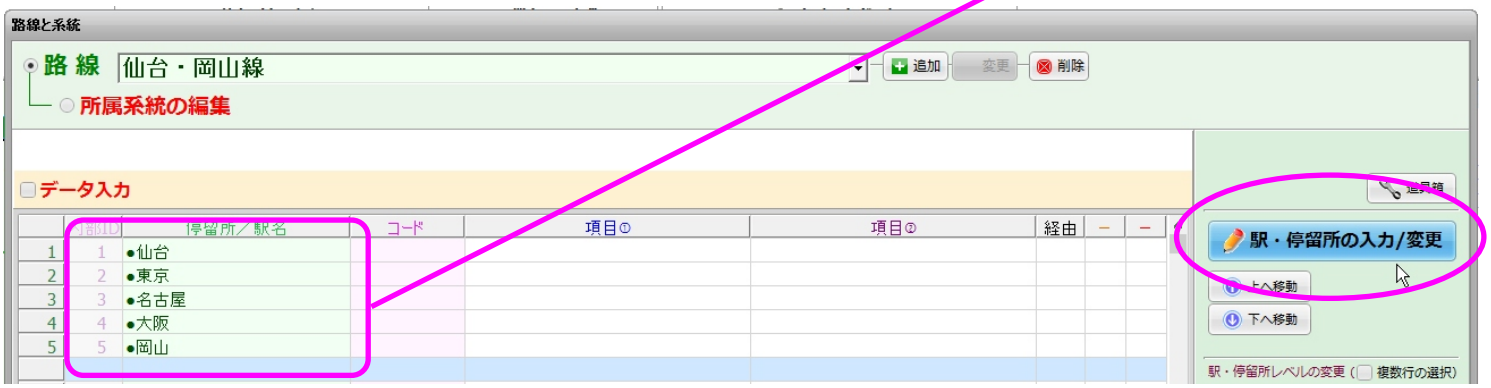


路線の**「追加」**ボタンを押しましょう。

図のように路線情報を入力して**「登録」**ボタンを押してください。



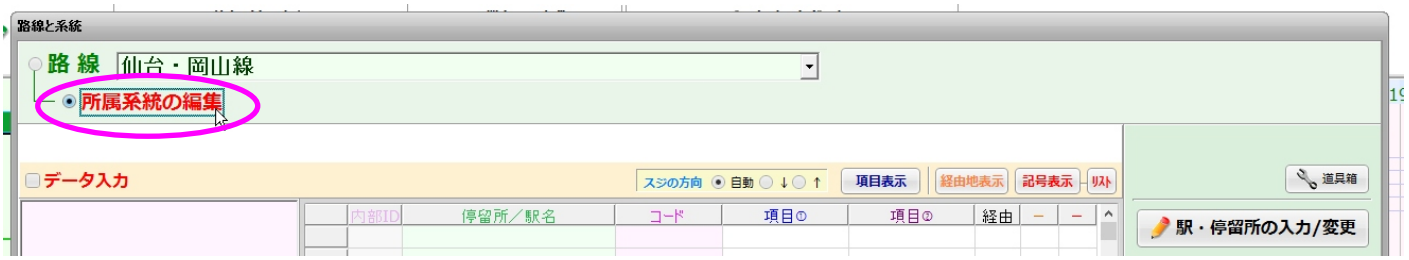
このようになります。



右側の「駅・停留所の入力／変更」ボタンを押すと、路線に停留所の並びを追加できます。
図のように停留所を５つ並べてみてください。

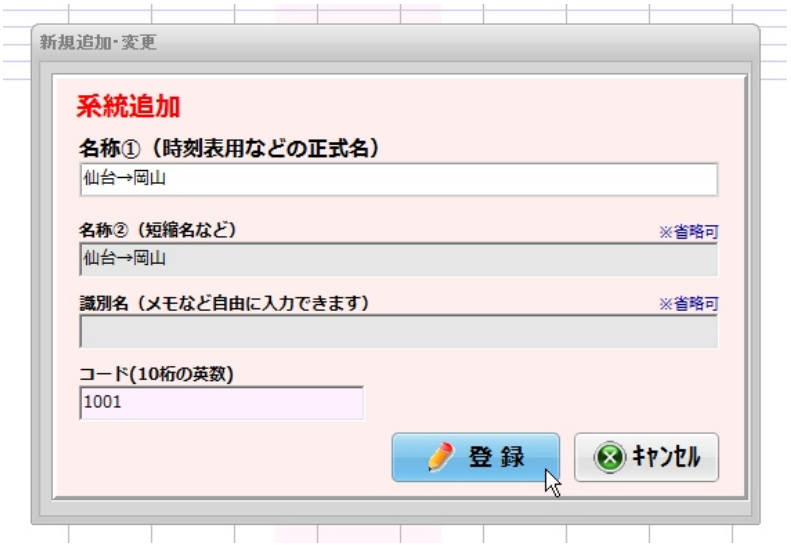
次に系統データを入力してみましょう。

④系統データを入力してみましょう。



「**所属系統の編集**」を選ぶと、系統データの入力画面に切り替わります。

左下の「**系統追加**」ボタンを押します。



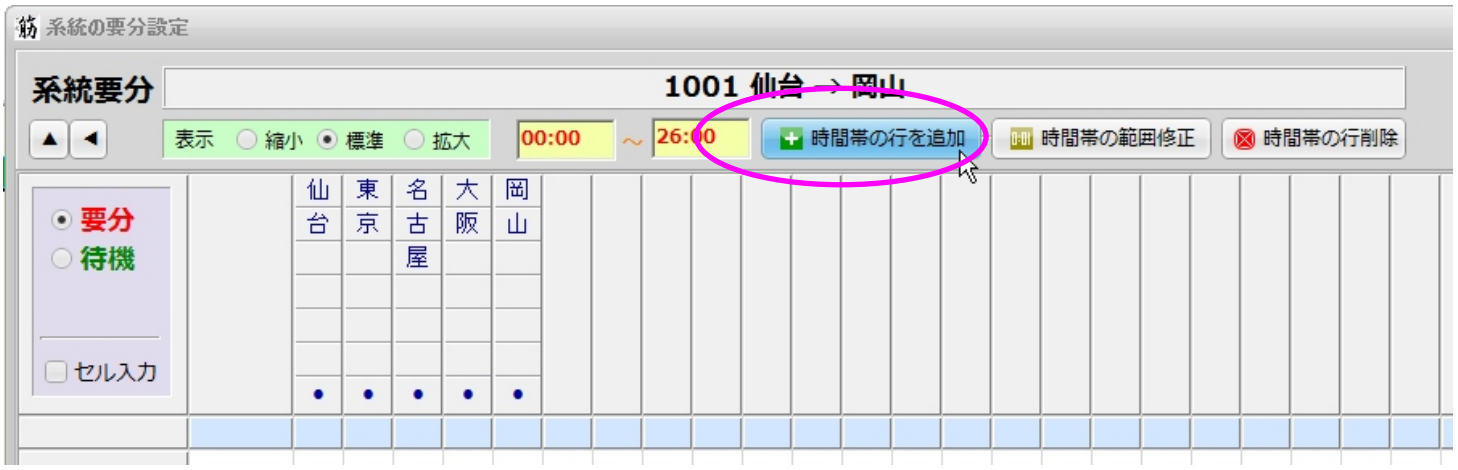
系統情報を上の図のように入力してみてください。
入力が終わったら「**登録**」ボタンを押します。

追加した系統をクリックしてから、路線の時と同様に、
「**駅・停留所の入力／変更**」ボタンを押して、５つの通過停留所を登録してみてください。

次に系統の区間要分を入力してみましょう。

⑤系統の区間要分を入力してみましょう。

追加した系統を選択してから**「区間要分の入力」**ボタンを押しましょう。
系統の要分設定ウインドウが開きます。



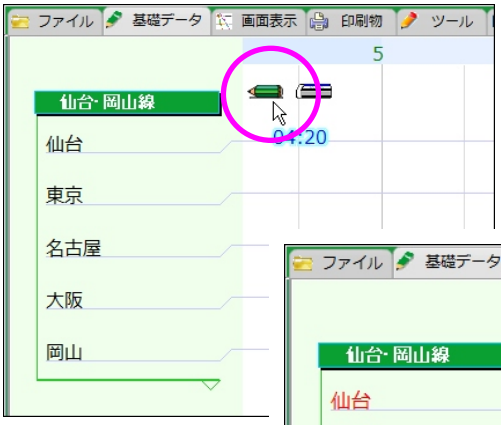
「時間帯の行を追加」ボタンを押すと、指定した時間帯範囲の入力行が追加されます。

「セル入力」にチェックを入れると、区間要分を入力できるようになります。
図のように入力してみてください。
入力後、右上の**「閉じる」**ボタンを押します。

これで基本データの入力は終わりです。
ご苦労様でした。

スジを引いてみましょう！

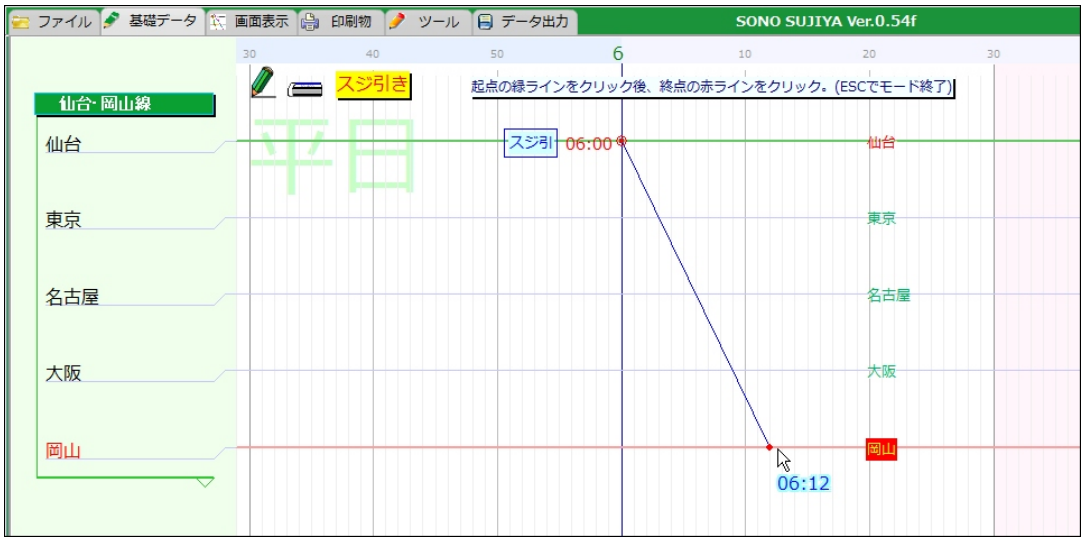
⑥スジを引いてみましょう。



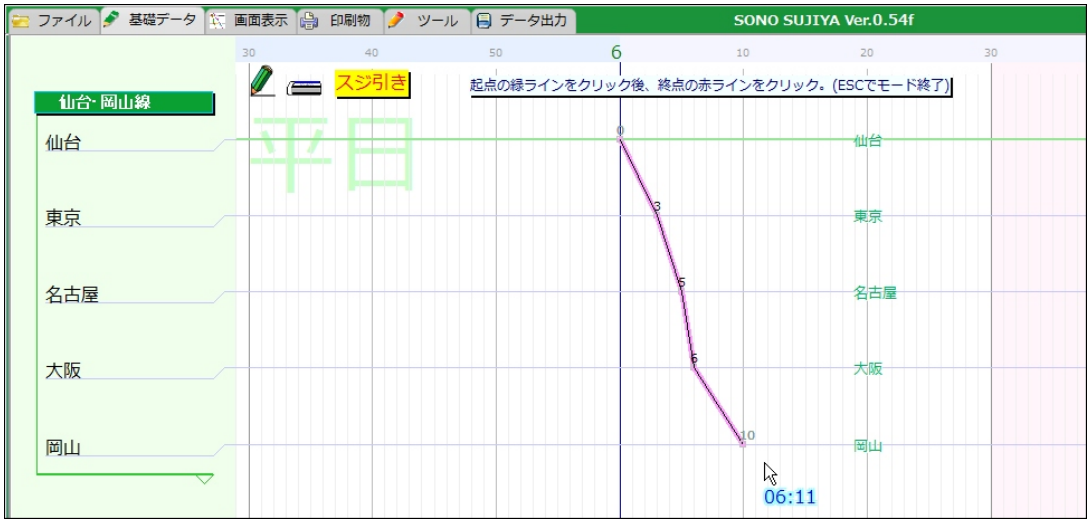
見やすいサイズに拡大してから
エンピツをクリックします。

起点のライン（仙台）が緑色になるので、発時間の位置で左クリックします。

終点ラインが赤色になるのでクリックします。（クリックする時間はテキトウに）



先ほど入力した区間要分の通りにスジが引かれます。



おしまい